

パナマ帽とは、エクアドルやコロンビアなどの中米原産のパナマ草を細かく裂いて天日に晒し、手で密に編んだ夏用の帽子のことで、中折れ帽の形など種類は様々ありますが、日本では、中折れしたパナマやパーム、麦わらなど夏素材の帽子の総称として使っています。またカンカン帽は、ストローハット(麦わら帽子の総称)とも呼ばれていますが、帽子のトップが平らになっているストローハットをカンカン帽と呼んでいるようです。

いずれにしても、夏向けの天然素材であるパナマやイグサ、麦わらを使った中折れ帽やカンカン帽が、ファッションに敏感な若い女性や男性を中心に人気になっています。

デザインも豊富に揃っています。人気のパナマ帽やカンカン帽は、リボンのデザインで表情も大きく違ってきます。帽子の横に飾るコサージュを大振りのアネモネやライラックの花にするだけで、ゴージャスに変身します。見た目の涼しさを表現したいなら、レース素材のでつばの広いパナマ帽がぴったりです。避暑地のワンシーンのような雰囲気演出できます。

パナマ帽をお洒落に被るなら、目元を隠す雰囲気でも深めに被りましょう。帽子の高さが浅いカンカン帽なら、頭にちょこんと載せるように浅く被るのがポイントです。今風に装うなら、マニッシュな雰囲気のカンカン帽に風になびくソフトフレアーのフェミニンなワンピースやトップを組み合わせたリ、パナマ帽にシャーリングブラウスとハードスリムジーンズを組み合わせたりというアンバランスさを取り入れるといいでしょう。

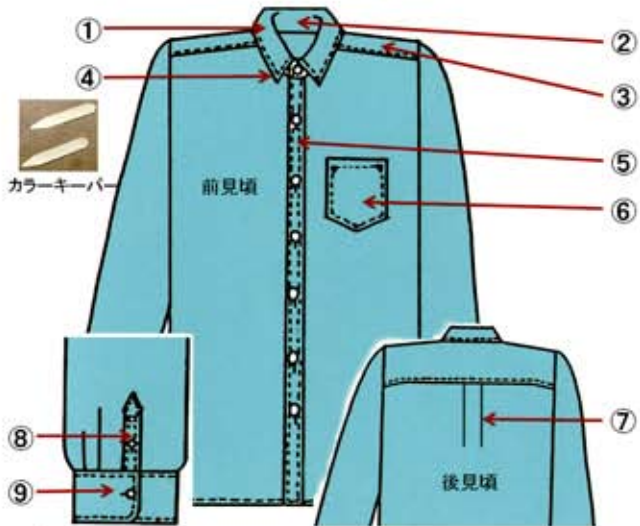


yuki.



衣類の
パーツの
名称

ワイシャツ



省エネ政策で、中央官庁でもワイシャツ出勤が奨励されていて、もともとは下着であったワイシャツが、外出着としても見直されています。

①襟(カラー) ②台襟(襟腰) 昔のおしゃれを意味した「ハイカラ」は、この部分が高いもの。③ヨーク 体にフィットするように別パーツになっていることと、摩擦の多い部分の補強の意味がある。④剣先 この部分には補強のためにカラーキーパーという部材が入ることがある。⑤前タテ ⑥ポケット フォーマルではポケットはない。⑦プリーツ 動きやすいように遊びを取る。センタープリーツ(図)とサイドプリーツがある ⑧剣ボロ ⑨カフス シングルと二重になったダブルがある。

(参考文献:『衣料品の見分け方』日本繊維協会刊他)

暮らし応援ニュースレター
HOMEDRY NEWS
ホームドライニュース No. 62



ファッション・ワンポイント: おしゃれで粋な夏の帽子
衣類のパーツの名称: ワイシャツ
繊維物語: ナイロン誕生秘話-日本製品不買運動とストックキング
衣生活の知恵: なぜ着ているだけで衣類が汚れるのか?

まごころクリーニング
ホームドライ
<http://homedry.or.tv/>



ナイロン誕生秘話

日本製品不買運動とストッキング

「鋼鉄よりも強く、クモの糸よりも細い」(“as strong as steel and as fine as spider’s web.”)そんなキャッチフレーズで登場したナイロン繊維は、1939年のニューヨーク万国博覧会で発表されセンセーションを巻き起こしました。



ニューヨーク万博 ©FASHIONing the FUTURE

博覧会場には、ストッキングをはいた巨大な女性の足が展示され、参観者を驚かせたのです。そして、高価な絹製品であったストッキングが化学工業製品として大量生産されるようになりました。

それまでアメリカでは、ストッキングの原料であった絹のほとんどを日本から輸入していました。

明治維新後の日本は、欧米の先進国に比べて経済的に大きく遅れていました。そこで、外貨を獲得するための輸出品として絹糸の生産に国を挙げて取り組みました。政府は世界遺産に指定された富岡製糸工場に代表される大規模な生糸工場をつくり、世界最大の生産国となり、絹糸産業は日本経済を支えるまでに成長しました。

しかし、その後日本とアメリカの関係は悪化していきます。日本と国交を断絶すれば、アメリカ女性はストッキングをはけなくなってしまう。そんな時に、デュボン社のウォーレス・カザーロス博士が、ナイロンを発明したのです。



カザーロス博士 ©indagravecom

当時のアメリカにおいては、日本製品の不買運動もさかんであったことから、絹に変わる繊維として、一気にナイロンは普及していきました。これによって、日本の絹糸産業は壊滅的な大打撃を受け、ニューヨーク万博の翌年には、日本とアメリカは戦争状態に陥ってしまいます。

ナイロン(Nylon)の命名には諸説ありますが、当時の桜内農林大臣が「アメリカは日本を打倒するために、絹産業を管理していた農林省のNorinをひっくり返す意味で逆読みのNylonと命名したのだ」と語ったと、西日本新聞に書かれていたというエピソードがあります。



なぜ着ているだけで衣類は汚れるのか?



白いスーツを、3日も着ていると、全体にくすんできます。マネキンに着せ掛けた服も、表通りに置いておけば、汚れてきます。なぜでしょう。

空気の中には、道路を走る自動車や工場から排気される油煙(ゆえん)という目には見えない細かい油脂の粒子が浮いています。衣類は、細い繊維の集合体で、フィルターのように油煙を吸着する性質があります。ですから、衣類を着て行動していると、1日のうちには大量の油分を生地の表面につけて帰ってくることになります。また、指でメガネに触れただけで油が付いてしまうように、人の体は皮脂油で覆われており、衣類に触れるたびに付きます。これらの油分が接着剤になって、ススやホコリなどが付いてしまいます。これが衣類を汚してしまう理由です。

汚れとシミを同じように考えてしまう方もおられますが、例えば食事のときなどに、食べこぼしやジュースが衣類に付いてしまうことによって、シミになります。「シミ」とは、特定のものが特殊な事情によって衣類についてしまうものです。